



くすりと健康

一般社団法人
神戸市薬剤師会

带状疱疹

带状疱疹は、ヘルペスウイルスの一種である「水痘帯状疱疹ウイルス」が原因で起こります。このウイルスに初めて感染すると「水痘(水ぼうそう)」になります。水痘の症状が治まった後も、ウイルスは体の中の神経節という場所にとどまり続けますが、体に異変を起こすことはなく、ウイルスは休眠状態になります。この休眠状態だったウイルスが再び活性化すると水痘のような痛みやかゆみを伴った皮膚症状があらわれ、これが带状疱疹です。同じヘルペスウイルスの仲間である「単純ヘルペスウイルス」が原因で起こる「口唇ヘルペス」などは、再発を繰り返すことも多いのですが、带状疱疹は多くの場合、一生のうち一度しか発症せず、感染していても発症しない人もいます。ウイルスが再活性化する原因は、はっきりとはわかっていませんが、病気や疲労、スト

レスなどにより免疫機能が低下した状態の時に起こることがあります。再活性化したウイルスは、神経を伝って移動して皮膚に到達し、水疱(水ぶくれ)などの皮膚症状を起こします。皮膚症状の起こる場所は、休眠状態のウイルスが元々いた神経節から移動しているため、その神経節が関与している場所だけ帯状に起こることが多く、広範囲に広がることはあまりありません。

带状疱疹は自然に治る病気ですが、症状に応じて抗ウイルス薬のアシクロビル、バラシクロビル、ファミシクロビルなどの飲み薬が使われますが、症状がひどい場合には、点滴の抗ウイルス薬が使われることもあります。抗ウイルス薬は、ウイルスの増殖を抑え、症状を軽くしたり、罹患の間を短くする効果があり、細菌感染などの合併症の危険性が低下します。また、痛みがある場合には、鎮痛薬が使われることもあります。

日常生活での注意点は、十分な睡

眠と栄養を取り、なるべく安静にして体力を回復することが早めの治療につながります。患部を冷やすと痛みが増すことがあるので、なるべく温めて血行を良くしてください。また、水疱にはたくさんウイルスが含まれており、水痘にかかったことのない人にうつしてしまうことがあったり、つぶれた水疱に細菌感染が起って傷跡が残ることがあるので、水疱はつぶさないようにしてください。

带状疱疹が治った後もピリピリとした痛みが続くことがあります。「带状疱疹」と呼ばれています。ウイルスが活発に活動していたときに神経を傷つけ、その修復が十分におこなわれていないために痛みが起っています。この痛みは、神経の損傷によって起っており、ウイルスが活動して起きているわけではないので抗ウイルス薬での治療は必要なく、鎮痛薬等で対処します。

(北区) 薬局エビラファーマシー

松本 博志